

編集後記

編集委員として1年と半年が過ぎました。令和4年は校務も多く大変な年でした。私が所属する弓削商船高専は、瀬戸内のしまなみ海道の因島南東に浮かぶ離島の弓削島(愛媛県)にあります。福山から車で1時間ほどで辿り着き、NHKのテレビ番組でも紹介されましたが、因島から約3分程度のフェリーで渡ってこれます。想像の通り、お店は少なく町民も本校学寮生(400名程度)と私を含めても3500人くらいで、いわゆる限界集落だそうです。都会の喧騒に疲れた人にとってしまなみの外れに浮かぶ離島は息抜きやレジャー旅行には手軽かつちょうど良いようです。

そんな田舎の高専ですが、本校は全国5校の自校の練習船を有する商船学科を持つ高専です。商船学科の実習には練習船を使用して、商船学科の教員は当番制で乗船実習の引率も行います。私は電気系出身ですが、商船学科に所属しており、この実習にも参加します。何なら、海運会社の外航船にも研修で1ヶ月ほど乗船しました。商船には多数の電気機器があり、これを取り扱うために電気工学を学びます。また、本校では担任制が敷かれ今

年は1年生(高校1年相当)の担任をしています。商船と聞くと海の男というイメージがありますが、近年はそういう元気を持つ学生はほとんどおらずとても平和です。ただ、少し体力的にも精神的にもデリケートな学生が多く、今年の学生は元気がない。という学生評価が毎年言われています。

高専ではもう一つクラブ活動が校務としてあります。ロボコンなどのコンテストへの出場と活躍を目的としたクラブは高専らしさがありますが、普通の学校の例に漏れない運動部も多数あります。私はたまたま陸上部の顧問をしていますが、こちらも昨今の例に漏れず自身の陸上競技者経験はありません。そんな中、今年是全国高専体育大会陸上競技の開催校として、陸上競技の素人でしたが大会運営を任せられ、愛媛県松山市の競技場で無事開催できました。ただ、その勢い余って、自分も走るようになり、先日人生初マラソンを走りました。

高専では文化が違うため戸惑うことも多いですが、新しいことに挑戦する機会が多くある場所だなと感じています。(佐久間一行)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦	米田仁紀(推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長)
副 会 長：上田良夫(研究部会連絡会委員長)	
常務理事：市口勝治(総務委員長)	
理 事：渥美寿雄 出射 浩(編集委員長)	井 通 暁 大勢持光一(財務委員長)
大原 渡 金子俊郎	村上 泉 横峯健彦(年会運営委員長)
木戸修一 兒玉了祐(企画展示検討委員長)	白藤 立(企画委員長) 花田磨砂也(推薦委員長：学会賞)
林 伸彦(広報委員長) 藤田隆明	渡邊隆行(支部・地区研究連絡会委員長)
監 事：立松芳典 前田達志	

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：出射 浩(九大) 副委員長：村上 泉(核融合研)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安部勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，市原大輔(名大)，井戸 毅(九大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，大宅 諒(九大)，勝川行雄(国立天文台)，川手朋子(核融合研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐々木渉太(東北大)，佐藤直木(東大)，神藤勝啓(原子力機構)，鈴木陽香(名大)，關 良輔(核融合研)，高橋宏幸(東北大)，竹崎太智(富山大)，田中 学(九大)，辻井直人(東大)，中村 誠(釧路高専)，畑 昌育(量研)，福本正勝(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，森田大樹(宇都宮大)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第99巻第1号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2023年(令和5年)1月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。